



立て心よ 行け私よ

No. 1

文責:

令和5年度の墨坂中学校がスタートしました

入学式 新入生 142 名 新たなスタート

※4 ページのグランドデザインもご参照ください。

4月6日(木)、新入生142名を迎え、令和5年度入学式が挙行されました。

今年度の入学式は、常時換気を行ったり、座席の間隔を広めにとったりという感染症対策を継続しながらですが、2・3年生も式場で参加し、全校が一堂に会しての入学式となりました。保護者の皆さまの人数制限もなく、来賓の方も昨年度よりも多くお招きしてご光彩を添えていただきました。

【入学式 学校長式辞より】

桜が満開に咲き誇り、校歌に歌われている「川の瀬音」にも柔らかさを感じる季節を迎えました。この佳き日に、須坂市長様 始め、4年ぶりに多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、ここに令和5年度墨坂中学校の入学式を挙行できることは、新入生はもとより教職員、在校生にとりましても大きな喜びでございます。心から厚く御礼申し上げます。

また、在校生も同じく4年ぶりに一堂に会することができ、同じ場で同じ空気を吸って、心待ちにしていた新入生の入学を祝福してくれています。

142名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの目は希望に光り輝いていますね。どの人の顔も引き締まって「よし、やるぞ」という気迫に満ちあふれていて、頼もしい限りです。

さて、墨坂中学校の学校教育目標は「立て心よ 行け私よ」です。この目標になり2年目を迎えます。改めてそこに込められた意味を説明します。新入生は今日ここに墨坂中学校に入学しました。今、皆さんには夢や目標がありますね。きっと、中学に入学することをきっかけに新たな目標を持ったり、将来の夢に向かってさらに頑張っていこうとする気持ちが高まったりしているのではないのでしょうか。

墨坂中学校には「立志式」という2年生の行事があります。この14歳という年齢は、自律に向けて個人的にも社会的にも重要な年齢であることから、一人一人が「自覚」「立志」「健康」をキーワードにして具体的な目標に掲げるとともに、周りの人たちもその14歳を祝福し励ます式です。その決意を胸に刻み、3年生になり自己実現に向け、進路選択へと進んでいきます。その式で2年生は「立て心よ」という墨坂中学校の立志式のためにだけ作られた合唱曲を歌い上げます。「立て心よ」が歌い継がれて昨年度が11



年目、つまり新たな1年目ということでもありました。聞いてみましょう。（～「立て心よ」～※）

1年生も入学時にこの歌の存在を知り、中学校に入学した今この時の志をしっかりと立てて、それに向かって努力を積み重ねていく、そして行動をおこしていった欲しいと思います。つまり1年生も「立て心よ 行け私よ」です。墨坂中学校での三年間、立志式という大きな節目としての立志はありますが、その時々の立志を大切にしたいと思います。

室町時代に能楽を大成した世阿弥の言葉に「初心忘るべからず」があります。この言葉には3つの初心があり、その中に「時々（じじ）の初心忘るべからず」というのがあります。つまり、時々（じじ）の初心とは、その時々（ときどき）の初心ということで、「能楽にはその年齢なりにふさわしい芸があるので、それに向かうための初心を忘れるな」というものです。「立て心よ」もその「時々（じじ）の立て心よ」である必要があるのだと思います。今日から始まる中学校生活を通して、友だちや先生方とお互いに心を通わせながら、確かな自分の生き方を発見し、「立て心よ 行け私よ」を胸に刻み、2年生、3年生も含め、共に進んで行きましょう。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学おめでとうございます。中学校の制服に身を包んだお子様の姿に感慨もひとしおのことと思います。同時に多感な時期を迎えるお子様の気持ちをどのように受け止め、導いていくのか、不安も感じながらの今日の入学式ではないかと思えます。

私たち教職員一同、心を一つにして、お子様の成長を願い、労を惜しまない覚悟でおります。人生の中で最も変化の激しいこの時期は、家庭、地域、学校の三者がともに手を携え、見守り支援していくことがこれまで以上に大切となります。三者それぞれが声をかけ、目をかけ、手をかけ、心をかけていきましょう。

今日の入学式は、それを互いに確かめ合う日でもあるかと思えます。共にそのことを誓い合うと共に、ご多用の中をご臨席いただきご光彩を添えていただきましたご来賓の皆様、そして保護者の皆様に、感謝と今後益々のご指導ご協力をお願い申し上げて、式辞とさせていただきます。

※「立て心よ」の歌詞は4ページ「グランドデザイン」掲載しています。
歌唱は、本校ホームページでお聞きいただけます。

【入学式 新入生代表の挨拶より】



春の息吹が感じられる今日、私たちは墨坂中学校に入学します。本日は、このような盛大な式を行っていただき、ありがとうございます。新入生を代表して御礼申し上げます。

僕は中学校生活での目標は2つあります。

1つ目は、思考力を高めることです、大人に言われたことだけをするのではなく、物事を自分で考え、行動する力が大切だと思うからです。様々なことに目を向けてチャレンジして、自分の頭でじっくり考えることによって思考力を高めたいです。

2つ目は、丁寧な行動を身につけることです。例えば、計算をするときに落ち着いて取り組むことでミスが減ります。また人や

物に対してもていねいに関わっていくことによって、良いコミュニケーションがとれ、信頼される人になると思います。

以上のことを目標にしてがんばりたいです。

私たち1年生は、まだ中学校のことを何も知りません。先生方や先輩方からたくさんのことを教えていただき、早く中学校に慣れたいと思います。

今日から、私たちのことをあたたかく、時に厳しくご指導くださいますようお願い申し上げます。

生徒 464 名、教職員 47 名、総勢 511 名

「自律に向け、心を立て行動を起こす」

【始業式 校長先生のお話より】

学校教育目標の「立て心よ 行け私よ」について、先ほどの入学式でお話しした通りです。その目標から、あなた方にこうなって欲しいという姿があります。「自律に向け、心を立てて行動をおこすことができる生徒」です。この自律は漢字で書くと「自ら律する」という方の自律です。自分の気まますを押さえ、自分の事は自分でやって行くことです。それができるようになるために、あなた方に3つの力をつけて欲しいと思います。それは「問題解決力」「他者関係力」「自己更新力」です。まずは心を立て、つまりやる気になる、意欲をもつ、そして具体的な行動をおこして、この3つの力を培っていくことをめざしましょう。



問題解決力とは「考えて、やりとげる」ことを繰り返せば身につきます。「他者関係力」とは「伝え合い、わかり合」う経験を積んでいくと身につきます。「自己更新力」とは「よりよい自分を創り、自らを認め好きに」なれば身につきます。

これらの3つの力を培っていくために墨坂中学校では、一昨年度から「墨中授業の3ある」ということを先生方と確認しています。今年度は「友との対話がある授業」「振り返りがある授業」を大切にして、問題解決の過程で皆さんが自らの考えを更新・補強していく授業をめざします。さらに、学校へ来るのがさらに楽しくなるように、各クラス毎に取り組む活動を全てのクラスで決め、取り組みます。主に総合的な学習の時間を使っての活動になります。例をあげると、昨年度の1-5や2-1が取り組んだ「農園」などです。各クラスで話し合っ「私のクラスと言えはこの活動」というものを決めてください。そこから、さらに一人一人がもっと調べたりやってみたりしたくなったものを、個々で追究を深めていって欲しいと思います。

最後に「他者関係力」に関わってのことです。464人という大勢の仲間がこの墨坂中学校で学び、生活をします。464人一人一人がそれぞれの個性をもっています。具体的に言えば、外見や性格、考え方など、様々な違いがあります。皆さんはこれまで、しっかりと人権について学んできているのでわかっていることだと思いますが、「みんなちがって、みんないい」です。お互いがそれぞれのちがいを尊重し、認め合っていくことを大切にしていってください。具体的には、そうした違いについて、友達を傷つけたり、悲しい思いをさせたり、差別するような言葉や行動をしないこと、つまり周りの友達を大切にすることを1年の始まりに私と約束をしましょう。

今日から、墨坂中学校の1学期が始まります。先生方も、「生徒の皆さんと一緒に生活し、授業ができて楽しかった」と思える様に、精一杯がんばります。生徒464名、先生方47名、総勢511名。「立て心よ 行け私よ」を合い言葉に、一緒に頑張っていきましょう。

【墨坂中学校新任職員】 令和5年度の人事異動で、次の職員が着任しましたのでご紹介します。

職員名	担当	職員名	担当



学校教育目標

立て心よ 行け私よ

めざす生徒の姿

～自律に向け、心を立て行動をおこすことができる生徒～

- ◇主体的に学習に取り組み、粘り「強く」追究できる生徒
- ◇心も体もたくましく、「賢く」誠実に生活できる生徒
- ◇自分を厳しくみつめ、他を思いやり、「共育ち」できる生徒

「立て心よ」 唐沢史比古
 眼ざしは空 紺碧のかた
 歩みは大地 立春の路
 眼ざしは海 群青のかた
 船出は友と 立春の風
 立て心よ
 行け私よ
 遥か遠い行く手めざして
 今
 歌声は 凛 万丈の山河
 響きは 凜 立春の歌
 立て心よ
 行け私よ
 遥か遠い行く手めざして
 立て心よ

【具体的方策】

授：研究テーマ「生徒が自ら考えを更新・補強していく力を育む授業の創造～教科等横断的な視点に立った問題解決力・他者関係力・自己更新力の育成～」

授：墨中授業の3「ある」

- 1 問いや願いがある授業→問いや願いがもてる導入
- 2 友との対話がある授業→対話場面の設定
- 3 振り返りがある授業 →振り返りの記入

授：家：個々の探究的な学びにつながる

協働的な体験学習（クラス総合等）の充実

授：「Google Classroom」の利活用・反転学習の実施

シ：授業評価（生徒・教員）を年2回実施（7、12月）

シ：学習相談「アドバンスタイム」（テスト前3日）

シ：夏休み自主学习「サマサットバンスタイム（SAT）」の充実

シ：毎月の4グループ授業改善研究

シ：小中連携 5校学力向上委員会

生・授：須坂市ESDの推進

生：ディスカッションの場の設定、○日前集会・墨坂祭

シ：学習支援ボランティアの拡充

【具体的方策】

授：3「ある」の②対話がある授業

学：SST・エンカウンターの実施、年2回のQU活用

シ：学：「あゆみ」の利活用・教育相談の充実

シ：3年2人担任制、1・2年ローテ担任制

生：VS活動・挨拶・墨坂祭・市内生徒会サミット

生：挨拶「3m先 自分から 誰にでも 挨拶を」

生：70-カン「Focus～全員に焦点を 全校で生徒会を～」

「伝え合い、わかり合おう！」

【他者関係力】

友の意見や考え、行動を尊重し、参考にしながら、自分の考えや行動を見つめ直し、友との関係を深めていく力

【評価指標】（学校評価アンケート：11月）

- * 学校には相談できる友だちがいる。（生徒）90%
- * 進んで挨拶することを心がけている。（生徒）95%
- * 生徒会や学級の活動などは、協力して行われている。（生徒）95%
- * 互いに協力し、頑張っていることを認め合っている。（保護者）90%
- * 生徒はきちんと挨拶することができる。（保護者）80%

「考えて、やりとげよう！」

【問題解決力】

自分から問いや願いを持ち、その解決や実現に向けて、友と考えを交流し合い、粘り強く学習に取り組んでいく力

墨坂中として育成する
教科等横断的な視点に立った資質・能力

【問題解決力】

【他者関係力】

【自己更新力】

授：授業

家：家庭学習

シ：システム・仕組み

生：生徒会

学：学級

【評価指標】（学校評価アンケート：11月）

- * 「授業の内容が分かる」（生徒）90%
- * 「質問をし、意見を述べようと努力している」（生徒）90%
- * 「先生は授業改善・学力向上に努めている」（保護者）80%
- * 「授業が分かりやすく、楽しく学んでいる」（保護者）75%
- * 全国学調 正答率全国比-3%以内
- * 市学力調査…前学年時の正答率を上回る。

【具体的方策】

授：3「ある」の③振り返りがある授業（振り返りカード記入）
観点のある振り返り

授：数学科少人数学習の実施（習熟度別に最適化された学習）

家・授：自律的な家庭学習への支援（家庭学習+30分）

家：eライブラリーでの自主学习

学・シ：フォーサイト手帳の利活用（プランニングタイム）

生：無言膝付き4回かけ清掃・歌声交歓会・墨坂ギネス

・墨坂祭・ICT推進局

授：2学年 立志式 合唱【立て心よ】 3学年親善音楽会

授：キャリアパスポートへの取組

授・生：生徒会と連携した人権同和教育月間（年2回）

シ：学びの場の保障（LD等通級指導教室（まなびの教室）
学習室・SC・SSW・スプリング会議）

「よりよい自分を創り、 自らを好きになろう！」

【自己更新力】

自分を振り返り、補強・更新・挑戦しながら、よりよい自分を創り認めていく力

【評価指標】（学校評価アンケート：11月）

- * 学校に来るのが楽しい。（生徒）90%
- * 宿題以外に予習復習など自分で考えた学習をしている。（生徒）75%
- * 「力を込めて4回かけ」を意識して清掃に取り組んでいる。（生徒）80%
- * 2人・ローテ担任制はよい（有効）と思う。（生徒）90%、（保護者）90%
- * 学校に誇りを持ち、喜んで通学している。（保護者）85%
- * 復習など家庭学習の習慣ができている。（保護者）70%